

特集

海外提携校(韓国)の
図書館を訪ねて



檀国大学校 退溪紀念中央図書館
正面入口



淑明女子大学校 中央図書館
一階ロビーラウンジ

CONTENTS

海外提携校(韓国)の図書館を訪ねて
VOICE
LIBRARY NAVIGATOR
新収資料紹介
INFORMATION

昨年夏、My CUL編集部は中央大学と国際交流協定を結んでいる韓国の提携校(7大学)のうち、ソウル市ヨンサン(龍山)区にある檀国大学校(2004年協定締結)と淑明女子大学校(2004年協定締結)二校の図書館を初めて訪問した。

檀国大学校は1947年創立、ソウルとチョナン(天安)の二キャンパス合わせて21学部(ただし二キャンパスに類似の学部が複数ある)、学生数11,000人を擁する総合大学である。

全学の中央館的な位置づけとなるのが、今回訪れた「退溪記念中央図書館」であり(表紙左側)、館名の由来は、図書館を李氏朝鮮時代最大の思想家(朱子学者)李退溪(1501-1570)の「精神継承の道場」とする趣旨によるものである。現図書館は、1986年に開館した地上5階地下1階、17,000㎡の建物で、全学170万冊の蔵書のうち約90万冊を所蔵している。

全学の図書・資料がDULISと呼ばれる図書館システムで統合されており、すべての所蔵資料が検索可能なのは勿論のこと、このDULISからは電子ジャーナル、e-book、学位論文(学内外)、紀要等学内刊行物の原文、CD-NET(オンライン上で利用できるマルチメディア資料)など様々なコンテンツにアク



セスでき、私たちが訪問した時期は秋学期開始直後であったにも拘わらず、2階の「文献情報検索室」(写真左下)の席は学生たちでほぼ埋まっていた。

また、4階の「定期刊行物室」や「参考閲覧室」(写真右上)には広いスペースに資料がゆったりと配置され、利用し易い環境がうらやましく感じられた。

5階の「古典資料室」には著名な国語国文学者であった金東旭(1922-1990)(*)の旧蔵書と共に、李退溪研究の第一人者であり、晩年檀国大学校教授を務めた李家源(1917-2000)の旧蔵書、陶磁器類(写真右下)などが収蔵されている。





このように、最先端のIT化と古典資料がほど良く調和した図書館を持つ檀国大学校であるが、数年後には手狭となった現ソウルキャンパスから、8.3倍の広さを持つスジキャンパス(京畿道龍仁市)に全面移転の予定であると言う。移転が完了したあかつきにはどのような図書館に変貌を遂げているのだろうか。

檀国大学校の見学終了後、私たちは車で20分程度の距離にある淑明女子大学校へ向かった。淑明女子大学校は1906年創立、9学部、学生数10,000人を擁する韓国を代表する女子大のひとつである。いかにも女子大らしい清洒なキャンパス(写真左上)の所々に創立百周年のキャッチコピー“百年の淑明千年の光”(写真左下)や“世界を変えるしなやかな力”が掲げられている。



キャンパスのやや東側に位置する図書館に入ると、まず1階のロビーラウンジの広い窓から姿を見せる樹々たちと高い天井に眼を奪われる(表紙右側)。1984年に開館した現図書館は地上6階地下1階、13,000㎡の建物で、約80万冊の蔵書を所蔵しているが、ここでも、檀国大学校退溪記念中央図書館と同様SMARTと呼ばれるシステムからすべての図書・資料は勿論のこと様々なコンテンツにアクセスすることができる。韓国図書館界のIT化の進行は我

が図書館界を常にリードして譲ることがない。

さて、この図書館の大きな特徴のひとつは徹底した主題分担制であり、3階「人文科学」、4階「社会科学」、5・6階「自然科学・芸術・体育」と、図書・逐次刊行物・参考図書すべてがそれぞれ主題別に配架され、貸出・返却はもとよりレファレンスを含むインフォメーション・サービスも各フロアで主題別に配置されたスタッフが受け付けているという点である(写真右下)。決して長所ばかりとは言えない面もあるようではあるが、韓国内の大学図書館には散見される方式であり、私たちとしては今後しっかりと動向を見守りたいと思う。

最後に訪れたのが1階にあるWOWLIC(World Women's Literature Center-『世界女性文学館』)(写真P4右上)である。2000年に設立され、大学創立



100周年の昨年5月、世界の女性作家の作品、研究書、雑誌など4万冊を展示する270㎡の専用スペースを持つに至った韓国最大の女性文学研究センターである。このうち65㎡の「ギャラリー」は韓国人女性作家を中心に写真、直筆原稿、愛蔵品などを併せて展示する「初版本コレクション」のコーナーとなっており、在日朝鮮・韓国人の芥川賞作家である柳美里(ユ・ミリ)や李良枝(イ・ヤンジ)の作品も展示されていた。

今回訪問した提携校はわずか二校であったが、二校ともスタッフの皆さんは私たちを旧知の友のごとく暖かく迎えてくれた。本学は海外にある数多くの大学と提携関係にあり、研究者交流や短期留学を中心とした学生交流はそれなりに成果を挙げているようであるが、最も立ち遅れているのがスタッフの交流ではないだろうか。今回の訪問が、海外(特に最



も近い国-韓国)の提携校図書館との間で人的、資料的交流の始まる「初めの一步」となることを願っている。

(*)金東旭氏は1943年本学専門部法学科卒であることが判明している。

Voice

いのうえ りょうこ
井上 玲子

みなさんは何か調べものをするときに、どのように本を探しているのでしょうか? CHOISでキーワードを入力し、検索結果の中に目ぼしいタイトルの本を見つけ、請求記号を基にその本を探し出し、その本を手に貸出カウンターへむかう・・・ということはないでしょうか。もちろんそれで目的の本は手に入れることができます。ですが、せっかく図書館まで足を運んだなら、ブラウジングをすることをお勧めします。ブラウジングという言葉は耳慣れないという方もいるかもしれませんが、図書館では「棚の本にざっと目を通す」というような意味で使われます。ぜひ探していた本の周辺の書棚にもざっと目を通してみてください。

さて、中央大学にはおよそ200万冊もの蔵書があります。その大量の図書をみなさんが利用しやすいように、体系的に整理する役目を果たしているのが、分類番号です。分類番号とは、みなさんご存知の通り、本の背に貼ってあるラベルの一番上の段に書いてある数字のことです。分類番号

は単なる数字の羅列ではありません。その数字によって本の内容を表わしているものです。分類ごとに配架することによって、同じような主題の本は、原則同じところにまとめて配架されることになります。ですから、探していた本の周辺を見てみると、同じような主題の本が並んでいると思います。さらに、関心のある主題の分類番号からCHOISを検索することで、異なる配架場所にある資料をさがすこともできます。多種多様な本が発行され、タイトルからは本の主題が推測できないような本もありますので、CHOISでの分類検索をうまく活用し、求めるテーマの本をさがしてみましょう。

CHOISの検索結果で見つけた本をきっかけに、ぜひ周囲の書架を眺め、書架の間を歩いてみてください。じっくり書棚を見ていくことで、何か思わぬ収穫があるかもしれません。

(図書館情報資料課)

Library Navigator

－CiNiiを使って論文をさがそう－

1. はじめに

どのような論文がどの雑誌に掲載されているか調べるには、雑誌記事索引を使ってみましょう。今回はCiNii(サイニイ)についてご紹介します。

2. 「CiNii(サイニイ)」とは

国立情報学研究所(NII)が提供する論文情報ナビゲータです。日本国内の大学等で発行された紀要や、学協会発行の学術雑誌を検索できます。一部の論文は引用情報をたどったり、本文を参照することができます。国立国会図書館の雑誌記事索引も全て収録しています。

3. 接続方法

中央大学図書館外部オンラインデータベースのページより、「論文情報ナビゲータ: CiNii(サイニイ)」を選択し、接続画面で[CiNii]ボタンをクリックしますと、トップページの画面に展開します。

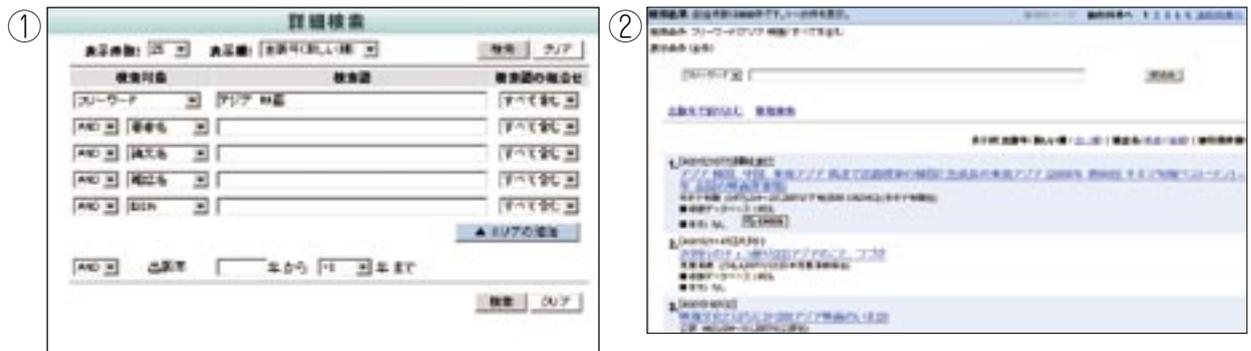
<URL: <http://ci.nii.ac.jp/>>

4. 検索の実際

★例: “アジアの映画”についての論文、記事をさがしてみましょう。

① 検索語を入力して検索します。

② 検索結果の一覧が表示されます。一覧表示の中に、探している論文や興味のある論文があれば論文名のアンカーをクリックします。もし、多くの検索結果が表示されてしまったら、画面上部の入力ボックスから絞り込むこともできます。



③ ここで興味のある論文名をクリックすると、論文の詳細情報が表示されます。

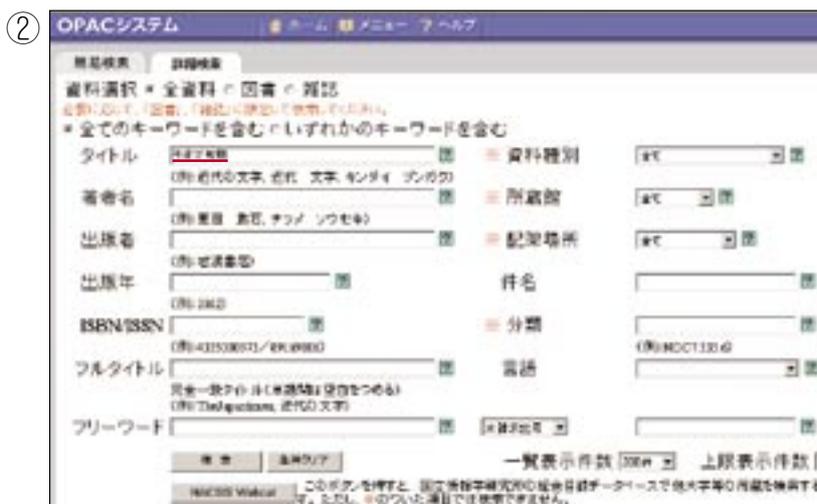
画面右上に[CiNii]ボタンがある資料については、本文を表示させることができます。



【本文の表示について】

CiNiiの本文提供は①無料一般公開、②定額許諾、③有料公開(論文本文の利用料金を利用者自身がお支払いいただくもの)の3段階に分かれています。①はNIIへ登録しなくてもどこからでも閲覧できます。本学図書館は定額制の契約をしていますので、学内のLANに接続されたパソコンから利用する場合は、①と②の条件の論文は無料で閲覧可能です。学外からの本文利用の便をよくするために、本学に所属している教員および学生は、サイトライセンス個人IDを取得することができます。IDを取得後はご自宅からでも②定額許諾の条件の論文を閲覧可能で、③有料公開の論文についても未登録の場合よりも安価に利用することができます。サイトライセンス個人IDの申請は、各人で学内に設置されたパソコンより申請していただくこととなります。詳しくはCiNiiのホームページをご覧ください。

5. 本文を表示できなかった論文を入手するには



◆検索結果のみかた◆

「特別企画 アジアで合作映画が作られる理由(わけ)」という論文は、『キネマ旬報』という雑誌の1460号、127-144ページに掲載されており、2006年7月に発行されたことがわかります。この画面では論文名、著者、雑誌名、掲載巻号、年月日、ページなどをメモしておきます。

次に、『キネマ旬報』という雑誌を中央大学図書館で持っているか調べます。以下の2つの方法があります。

◆雑誌検索2つの方法◆

【方法1】**CHOIS** ボタン(画面右上に表示)をクリック → 自動的にCHOIS(中央大学図書館蔵書目録)を検索し、雑誌の詳細情報を表示します。

【方法2】CHOISで雑誌のタイトルを入力して検索します(画面②)。

【ご注意】CHOISへのリンクボタンには検索上の不備があります。【方法1】で所蔵が見つからなかった場合は、必ず【方法2】で試してみてください。

6. 本学図書館にない資料の利用について

【方法2】でCHOISを検索した結果、中央大学図書館がこの雑誌を持っていなかった場合は、[NACSIS Webcat] ボタンをクリックすると、他大学の図書館の蔵書を検索することができます。

他大学図書館の資料については、文献複写を取り寄せたり、紹介状の発行を受けて訪問利用することができます。詳しくは中央図書館レファレンスカウンター・理工学部分館6階カウンター・市ヶ谷キャンパス図書室4階カウンターへお問い合わせください。

新収資料紹介

①教職員著作目録 2006.10 - 2007.1 ()は所属学部等

著者名	書名	出版社	配置場所	請求記号
石川 晃弘 (文学部) 著	スロヴァキア熱 言葉と歌と土地	海象社	開架・中央	293.48/I76
今井 秀樹 (理工学部) 編著	ユビキタス時代の著作権管理技術 DRMとコンテンツ流通	東京電機大学 出版局	開架・理工	021.2/I43
嶺井 正也 池田 賢市 (文学部) 編	教育格差 格差拡大に立ち向かう (国民教育文化総合研究所 15周年記念ブックレット 3)	現代書館	開架	372.1/Mi42
功刀 達朗 内田 孟男 (経済学部) 編著	国連と地球市民社会の新しい地平	東信堂	中央	319.9?Ku48
金井 貴嗣 川浜 昇 (法学部) 編	ケースブック独占禁止法	弘文堂	開架・中央	335.57/Ko92
岸 真清 島 和俊 (商学部) 共著	市民社会の経済政策	税務経理協会	開架・中央	332.106/Ki56
小島 武司 (名誉教授) 田中 成明 編	法曹倫理 LEGAL ETHICS : Problems,Cases and Materials 第2版	有斐閣	開架・中央	327.1/Ko39
佐々木信夫 (経済学部) 著	自治体をどう変えるか (ちくま新書 625)	筑摩書房	開架・中央	ちくま新書 /625 318/Sa75
寺島 実郎 ほか 鈴木 敏文 (理事長) 監修	経営革新 Vol.3	中央大学 出版部	開架・中央	335/C66
田中 拓男 (経済学部) 著	開発論—こころの知性 社会開発と人間開発	中央大学 出版部	開架・中央	333.8/Ta84
都筑 学 (文学部) 編 上里 一郎 監修	思春期の自己形成 将来への不安のなかで (シリーズこころとからだの処方箋)	ゆまに書房	開架	371.47/Ts99
都筑 学 (文学部) 著	心理学論文の書き方 おいしい論文のレシピ (有斐閣アルマ Basic)	有斐閣	開架・中央	140.7/Ts99
長野ひろ子 (経済学部) 著	ジェンダー史を学ぶ	吉川弘文館	開架・中央	367.2/N16
南原 一博 (法学部) 著	近代日本精神史 福沢諭吉から丸山真男まで	大学教育出版	開架・中央	311.21/N48
高橋 公忠・島田 公明・ 片木 晴彦・野村 修也 (法科大学院) 著	プリメール会社法 (αブックス)	法律文化社	開架・中央	325.2/Ta33
服部 龍二 (総合政策学部) 著	幣原喜重郎と二十世紀の日本 外交と民主主義	有斐閣	開架・中央	319.1/H44
平野 晋 (総合政策学部) 著	アメリカ不法行為法 主要概念と学際法理	中央大学 出版部	開架・中央	324.953/H66
古川 浩一 (総合政策学部) 蜂谷 豊彦 著	基礎からのコーポレート・ファイナンス 第3版	中央経済社	開架・中央	336.8/F93
藤本 哲也 (法学部) 著	犯罪学研究 (日本比較法研究所研究叢書 71)	中央大学 出版部	開架・中央	326.3/F62
前川 要 (文学部) 十三湊フォーラム実行委員会 編	十三湊遺跡 国史跡指定記念フォーラム	六一書房	中央	210.02/Ma27
松田 美佐 (文学部) 岡部 大介 編	ケータイのある風景 テクノロジーの日常化を考える	北大路書房	開架・社情	361.54/Ma74
渡部 裕巨 (商学部) 編著 北村 敬子 (商学部)	テキスト上級簿記	中央経済社	開架・中央	336.91/W45



貴重書・準貴重書の利用について

貴重書、準貴重書の閲覧は館長の許可を要するため事前の手続きが必要です。
詳しくは中央図書館2階カウンターに、お問い合わせ下さい。
なお、大学院生は指導教員の推薦状が、学部学生は指導教員の同伴が必要となります。



(1) 4月企画展示について

下記の要領で第8回中央図書館企画展示を行いますので、是非ご覧ください。

テーマ **中央大学出身の作家たち：自筆書名入り本と自筆原稿を中心に**

期間 **2007年4月2日(月)～28日(土)** 会場 **中央図書館2階(展示ケース)**

(2) 2007年度新規データベース

新規に下記データベースを導入しました。図書館ホームページ・外部オンラインデータベースのページよりご利用ください。

「日経 BP 記事検索サービス」、「医中誌 WEB」、「Science Direct」、「理科年表」

(3) 2007年度開閉館日程について

今年度につきましては、学内関係部署との調整中のため、詳細について決定しておりません。確定致しましたら、図書館ホームページ、毎月配付している図書館カレンダーにてお知らせいたします。

なお、2007年度の中央図書館、理工学部分館の休日開館は、以下の日程を予定しています。

- 1) 中央図書館** (2007年) 7月8日(日)、15日(日)、22日(日)：10時～18時
 8月4日(土)、11日(土)、18日(土)：9時～22時
 (8月は通信教育部スクーリングに伴う休日開館)
 10月28日(日)：10時～16時
 (ホームカミングデー開催につき施設利用のみの開館)
 (2008年) 1月13日(日)、20日(日)：10時～18時
- 2) 理工学部分館** (2007年) 7月22日(日)、29日(日)：10時～18時
 (2008年) 1月20日(日)、27日(日)：10時～18時

(4) 2007年度サービス状況について

キャンパス	館・室名	場 所	開館時間		
			平日	土	日・祝
多摩キャンパス	中央図書館		9:00～22:00		△
	大学院図書室	2号館5階	9:00～20:00		閉室
	文学部専攻図書室	3号館4階～9階	9:30～17:00	9:30～12:00	閉室
	総合政策学部図書室	11号館3階	9:00～20:00	9:00～17:00	閉室
	法・商学部学生図書室	6・5号館3階	9:00～21:00 #1		閉室
後楽園キャンパス	理工学部分館	6号館5階～7階	9:00～21:00 #2		△
	文系大学院図書室	3号館13階	9:00～22:00 #3		10:00～18:00 #4
市ヶ谷キャンパス	市ヶ谷キャンパス図書室	4階	9:00～22:00		10:00～18:00 #4
	同 上	3階	9:00～24:00 #5		

休館日については、各館により異なりますので、詳細はホームページをご覧ください。

△：時期により休日開館を行います。(上記(3)を参照)

#1：経済学部学生図書室については、経済学部事務室にお問い合わせ下さい。

#2：試験時期には、22時まで開館します。 #3：大学院授業期間以外は20:00まで。

#4：大学院授業期間以外は閉室。 #5：年末年始は除きます。

編集後記

新生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今年の冬は例年にも増して暖冬の日が続きましたね。そしてまた感染性胃腸炎、インフルエンザ、ノロウィルスと、数年前までは聞き慣れない感染性の風邪にうなされた人も少なくなかったのではないのでしょうか。体調管理に妙に敏感になり、それだけで体調崩しそうでした。(現にこれを書いている本日(2月上旬)の最高気温は14℃！)

さて、今号ですが毎号の「コレクション紹介」をちょっとお休みさせて頂き、My CUL編集部数人が昨年8月に訪問しました韓国の大学図書館を紹介させていただきました。写真を見ただけでも広く綺麗な図書館で居心地よさそうですね。

この時期新生の皆さんはもちろんですが、学生生活をおくる中で大事なガイダンスが多く行われる時期です。もちろん図書館でも利用ガイダンスを実施します。図書館は情報が多く詰まっている場所の一つです。いい機会だと思いますので、是非参加してみてください。また、Library Navigatorでも多種多様なデータベースを随時紹介していきますので、併せて参考にしてみてください。